

BELLUNA

証券コード：9997

お客様の衣食住遊を豊かにする

Business Report

株式会社ベルーナ

第42期 株主通信

2017年4月1日～2018年3月31日



主力4事業の強化が実を結び過去最高益。
“通信販売総合商社”として飛躍すべく、
第四次経営計画に向けた基盤作りを開始します。

代表取締役社長 安野 清



■ 当社グループを取り巻く市場環境

日本経済は内外需要の緩やかな回復基調により、安定的に推移しております。個人消費も雇用環境の改善などを背景に持ち直しの傾向にあります。

一方、通信販売業界におきましては、電子商取引（EC）の急成長により市場は拡大していますが、消費者の節約

志向は続いています。私たちが携わる小売業界では企業間の価格競争が激化し、物流コストも上昇しているため、当社グループはさらなる企業努力が求められています。

■ 当期の概況

当期の連結売上高は1,616.7億円（前年同期比10.7%

増）となりました。営業利益は130.0億円（同19.5%増）という数字で、過去最高益となりました。店舗販売事業とプロパティ事業の2事業が順調に売上を伸ばしております。経常利益は132.4億円（同8.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は96.6億円（同66.6%増）と、いずれも増益の結果となりました。

財政状態に関しましては、短期借入金や社債が増えたこともあり、負債は前連結会計年度末より116.3億円増加し、1,028.8億円となりました。一方、総資産は前期より169.2億円増加し、1,959.4億円に達しております。その結果、純資産は52.8億円増加の930.5億円となり、自己資本比率は前期とほぼ同等の47.1%となっております。

■ 第三次経営計画の進捗

“通信販売総合商社”としての進化を果たすために掲げた第三次経営計画の下、当期も「総合通販事業の安定的な成長」「専門通販事業の拡大」「店舗販売事業の新規出

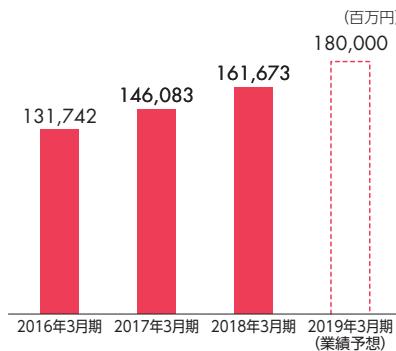
店による拡大」「ポートフォリオの成熟に向けたプロパティ事業の強化」という4大事業の成長に取り組んでまいりました。

当期においては、不動産賃貸事業、不動産再生・開発事業、ホテル事業を手がける「プロパティ事業」の健闘が目立ちました。売上高は前年同期比108.7%増という成果を上げており、引き続き当セグメントの強化に取り組んでまいりたいと考えております。また、衣料品・家具雑貨等の売上が良好で「総合通販事業」も同4.5%増、グルメ事業及び化粧品事業の売上が好調で「専門通販事業」も同12.2%増、アパレル店舗事業・和装店舗事業ともに順調に売上を伸ばし「店舗販売事業」も同16.6%増と、主要事業で増収を果たすことができました。

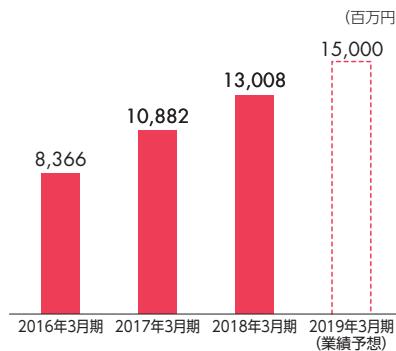
売上高は全セグメントで増収を達成しています。事業拡大を見据えた第三次経営計画は着実に業績を上げており、“通信販売総合商社”への道は順調なものだと実感しております。

Financial Highlights 財務ハイライト

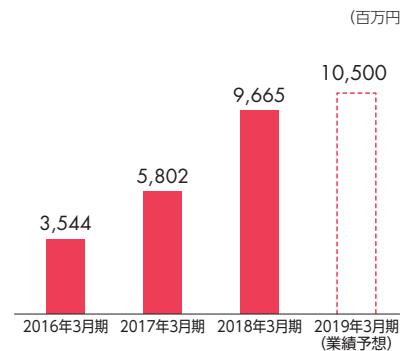
■ 売上高



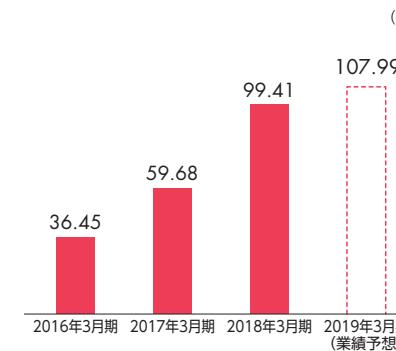
■ 営業利益



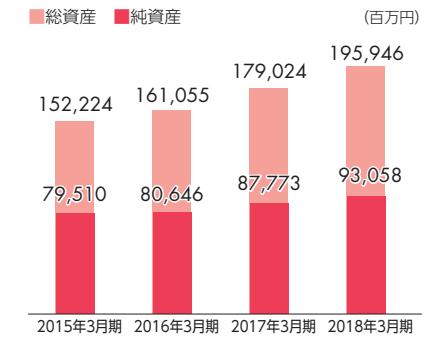
■ 親会社株主に帰属する当期純利益



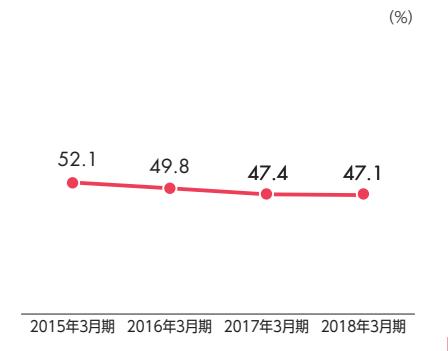
■ 1株当たり当期純利益



■ 総資産・純資産



■ 自己資本比率



■ 次期の見通し

2019年3月期は、売上高1,800億円、営業利益150億円、経常利益155億円、親会社株主に帰属する当期純利益は105億円を見込んでいます。

第三次経営計画の最終年度となる次期は、経営方針に則り主力4事業の強化を引き続き進めてまいります。さらに、2020年3月期から始まる第四次経営計画の開始に向けた土壌作りの年と捉え、収益性と成長性を一層推進し、“通信販売総合商社”としてのさらなる成長を図ってまいります。

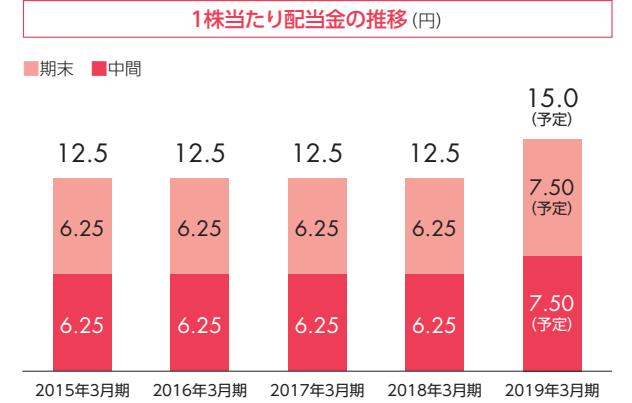
■ 株主還元について

当社は、企業価値の向上を通して株主の皆様の厚いご支援にお応えすることに大きな価値を置いております。当期の配当につきましては、期末配当を1株につき6.25円とし、中間配当の6.25円と合わせ年間配当金は12.5円となります。次期につきましては、2.5円増配の年間配当15.0円を予定しております。また、株主の皆様のご支援に心から謝意を表するとともに、当社事業に対するご理解をより一層深めていただき、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的として、当社株式を100株

以上保有されている株主様に株主優待を実施しています。

当社は「お客様の衣食住遊を豊かにする」という経営理念の下、1968年の創業以来、「顧客志向・顧客密着」を合言葉に、通信販売とそれに付随する様々なサービスで培ってきた膨大なデータベースを中心に、あらゆる経営資源を駆使して事業を展開することで成長してきました。

今後とも多角的なアプローチで新たな付加価値を創造しながら、進化を続けていきます。株主の皆様におかれましては、当社グループへの変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株主優待内容

1 優待券、優待クーポンまたは自社取扱商品から選択

① 当社運営の通信販売で使用できる優待券 ② ベルーナネットで使用できる優待クーポン ③ 自社取扱の食品またはワイン



2 「裏磐梯レイクリゾート(旧裏磐梯猫魔ホテル)」で利用できる宿泊優待券



3 「ルグラン旧軽井沢」で利用できる宿泊優待券



保有株式数	1 優待券または自社取扱商品から選択	2 裏磐梯レイクリゾート優待券	3 ルグラン旧軽井沢優待券 ^{*3}
100株以上500株未満	① 1,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ② 1,000円分のネット専用優待クーポン ③ 1,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券1枚	宿泊優待券1枚
500株以上1,000株未満	① 3,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ② 3,000円分のネット専用優待クーポン ③ 3,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券2枚	宿泊優待券1枚
1,000株以上	① 5,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ② 5,000円分のネット専用優待クーポン ③ 5,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券4枚	宿泊優待券1枚

^{*1} 衣料品、生活雑貨、家具等を販売する総合通販でご利用いただけます。

^{*2} 自社取扱の食品またはワインは、当社が選定した商品をお送りいたします。商品をカタログから選ぶことはできません。

^{*3} ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回(12月上旬発行分)のみの贈呈となります。

^{*4} 株主優待のご利用方法の詳細については、贈呈時にご案内いたします。

発送時期・有効期限

	発送時期	有効期限
中間	12月上旬	12月1日～6月30日
期末	6月下旬	7月1日～12月31日

対象となる株主様

毎年3月末および9月末の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上保有の株主様

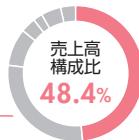
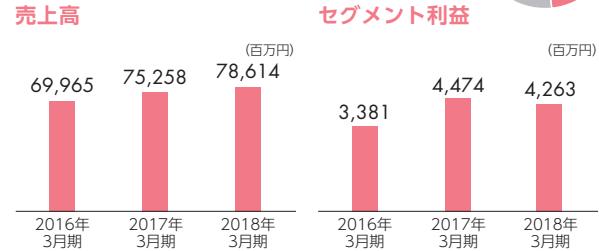
Summary of Consolidated Results 連結業績の概況

総合通販事業

カタログやインターネットなどを媒体とする衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売および関連事業



衣料品・家具雑貨等の売上が好調で、売上高は786.1億円(前年同期比4.5%増)となりました。また、セグメント利益は原価率・媒体費率が改善した一方で、物流費の高騰などにより42.6億円(同4.7%減)となりました。

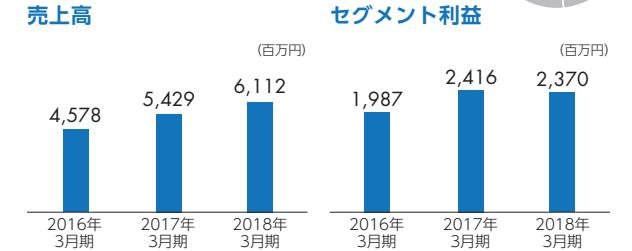


ソリューション事業

封入・同送サービスや通販代行サービスなど、当社グループのデータベースやインフラを活用した受託事業



通販代行サービスは堅調に推移したものの、大口クライアントの取引縮小で封入・同送サービスが苦戦したことにより、売上高は61.1億円(同12.6%増)、セグメント利益は23.7億円(同1.9%減)となりました。

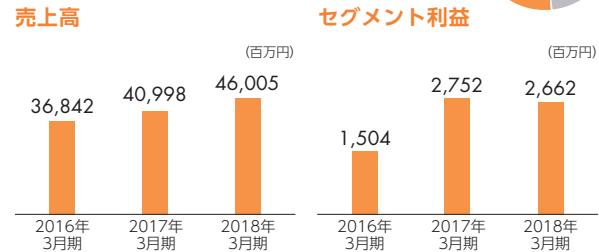


専門通販事業

食料品・化粧品・健康食品の販売など、特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業



グルメ事業及び化粧品事業の売上が好調だったことにより、売上高は460.0億円(同12.2%増)となりました。一方で、新規顧客獲得へ向けた積極的な販売戦略等により、セグメント利益は26.6億円(同3.2%減)となりました。

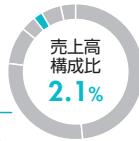
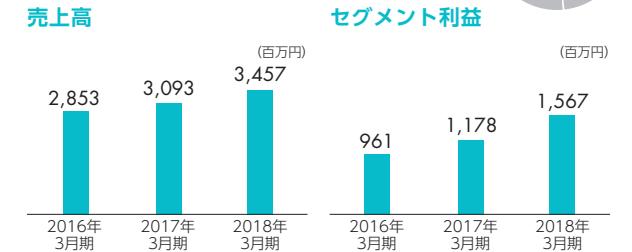


ファイナンス事業

通信販売事業の顧客を中心に展開するB to Cファイナンス事業



国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は34.5億円(同11.8%増)、セグメント利益は15.6億円(同33.0%増)となりました。

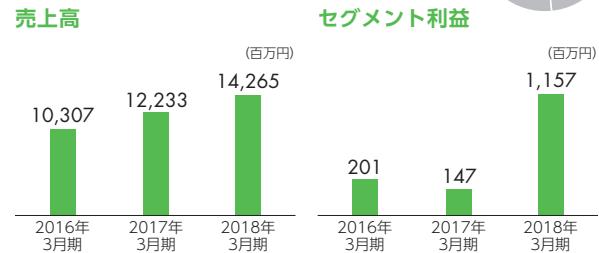


店舗販売事業

衣料品・和装関連商品等の店舗販売事業



アパレル店舗事業・和装店舗事業共に順調に売上を伸ばしたことで、売上高は142.6億円(同16.6%増)となりました。セグメント利益も不採算店の閉鎖及び収益性改善により11.5億円(同682.3%増)となりました。

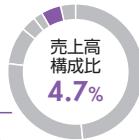
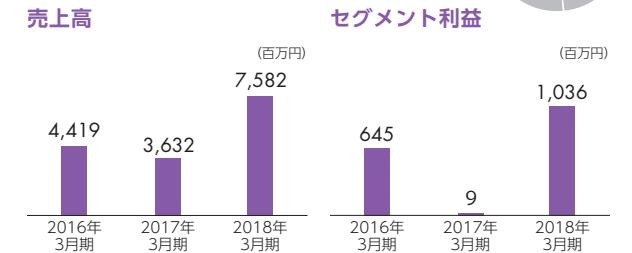


プロパティ事業

オフィスビルなどの賃貸および再生・開発を手掛ける不動産事業、およびホテル事業



販売用不動産の売却及びホテル事業の売上が貢献し、売上高は75.8億円(同108.7%増)となり、セグメント利益は10.3億円(前年同期はセグメント利益9百万円)となりました。



Focus! 好調な専門通販事業

好調な専門通販事業が業績を牽引 お客様の支持を集め、各ジャンルでNo.1を獲得

食品やワイン、化粧品、サプリメント、看護師向け用品といった特定のジャンルにこだわった通信販売事業が好調です。品ぞろえの豊富さが魅力の総合通販とは異なり、各ジャンルの商品展開や価格、サービスなどに特徴を持たせた個性的な逸品を取り揃え、その独自性がお客様の支持を集め、リピートオーダーに繋がっています。

化粧品 事業

30代からの肌悩みに応える美容液「ビューティーオープナー」が 国内売上高6.1億円を記録し、卵殻膜配合美容液で国内通販売上高1位を獲得



当社の子会社であり、化粧品通販を展開する株式会社オージオが販売する卵殻膜エキスを凝縮した美容液「ビューティーオープナー」が、東京商工リサーチの「卵殻膜配合美容液に関する調査」で国内通販売上高1位を獲得しました。卵の殻の内側にある薄い膜であり、卵を菌やウイルスから守る「卵殻膜」を配合した『ビューティーオープナー』は、国内売上高6.1億円を記録しています。10年にわたる大学の研究成果で卵殻膜エキス95%という高濃度を実現した結果、素肌への確実な浸透力を提供することができ、30代からの肌悩みにしっかりと応える商品となっております。

グルメ 事業

「旨い酒が飲みたい」が日本酒通販国内売上高1位に 利酒師が全国120以上の蔵元から厳選するスタイルが高評価



当社が展開する日本酒通販「旨い酒が飲みたい」が、東京商工リサーチ発表の2016年度「国内日本酒通販市場シェアに関する調査」において、通販国内売上高1位になりました。日本酒売上高は12億円（前年比48%増）に達し、2017年度売上高は20億円（前年比約60%増）を見込んでおります。①利酒師が吟味した商品、②全国120以上の蔵元から集めた豊富な品ぞろえ、③コストを抑えた独自の流通形態という3つの特徴が支持されており、今後は新しい取り組みを増やすことで、日本酒業界を盛り上げていきます。

看護師 事業

株式会社アンファミエと株式会社ナースリーを合併 看護師通販の更なるシェア拡大と転職支援ビジネスの拡充を図る



ナースキャリアネクスト3つの強み

- 看護師 通販実績 業界No.1
約100万人の医療従事者と
全国の医療施設へ効果的にアプローチ！
- ベストマッチング！
信頼をベースに、医療施設と看護師の
ベストマッチングを目指します！
- 地域密着だから安心！
看護師専門の人材支援で、
地域ごとの担当者をめざしています。

当社子会社の株式会社アンファミエは、看護師向け通販市場全体のシェアおよそ4割を占め、国内売上高No.1であり（2014年度東京商工リサーチ調べ）多くの看護師から支持を集めるブランドです。2017年10月からは、看護師向け通販事業でのデータベースを活用し、看護師人材紹介サービス「ナースキャリアネクスト」をスタートさせました。幅広い医療従事者の方や病院法人様と構築した深い関係を生かし、信頼度の高い情報を提供することが可能なおうえ、地域密着を前提に、キャリアアドバイザーが間に入り就職を支援することでお客様に満足いただける環境をご紹介します。

なお、2018年4月1日を効力発生日として、アンファミエと看護師通販を手がけていた株式会社ナースリーを合併し、商号を株式会社ナースステージに変更いたしました。「ナースキャリアネクスト」のさらなる売上拡大を図るにあたり、ナースリーのデータベースを相互活用することが有効と考えたためです。

海外 事業

専属ソムリエ監修の「My Wine CLUB」が好調を維持 国内ワイン通販市場では9年連続でNo.1に



当社が展開するワイン専門通販「My Wine CLUB（マイワインクラブ）」が、東京商工リサーチの「国内ワイン通販市場シェアに関する調査」で、通販国内売上高1位を獲得しました。2016年度の「My Wine CLUB」の売上高は30億6,300万円（前年比2.3%増）となり、9年連続ワイン通販国内売上高1位となりました。専属ソムリエが監修する「My Wine CLUB」は世界15カ国以上から直輸入した3,000種類近いワインを販売しており、徹底した品質管理などから多くの信頼を得ています。

Consolidated Financial Statement 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2017年3月31日現在	当連結会計年度 2018年3月31日現在
資産の部		
流動資産	84,792	90,851
固定資産	94,231	105,094
有形固定資産	64,258	75,549
無形固定資産	12,876	11,737
投資その他の資産	17,096	17,808
1 資産合計	179,024	195,946
負債・純資産の部		
流動負債	40,352	42,331
固定負債	50,898	60,556
2 負債合計	91,251	102,888
株主資本	84,969	93,374
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,002	10,958
利益剰余金	63,359	71,809
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	△95	△1,029
非支配株主持分	2,899	713
純資産合計	87,773	93,058
負債純資産合計	179,024	195,946

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

1 資産合計

前期末に比べ16,921百万円増加しました。これは主に、流動資産における現金及び預金、営業貸付金、商品及び製品が増加、固定資産における土地、建設仮勘定、投資有価証券が増加したことによるものです。

2 負債合計

前期末に比べ11,637百万円増加しました。これは主に、流動負債における短期借入金が増加、固定負債における社債が増加したことによるものです。

3 売上高

総合通販はミセス系カタログが伸長、専門通販はグルメ・ワイン事業や化粧品事業が好調に推移、店舗販売は和装店舗の新規出店等による増収とアパレル店舗の既存店売上が好調に推移するなど、全セグメントで増収を達成し、前年比10.7%増となりました。

4 営業利益

店舗販売事業はアパレル店舗の収益性改善により大幅増益、プロパティ事業での不動産売却などにより前年比19.5%増となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2016年4月1日～ 2017年3月31日	当連結会計年度 2017年4月1日～ 2018年3月31日
3 売上高	146,083	161,673
売上総利益	81,762	89,897
販売費及び一般管理費	70,880	76,889
4 営業利益	10,882	13,008
営業外収益	1,937	2,324
営業外費用	631	2,084
経常利益	12,188	13,248
特別利益	0	1,092
特別損失	2,414	606
税金等調整前当期純利益	9,773	13,734
法人税、住民税及び事業税	4,037	3,917
法人税等調整額	43	130
当期純利益	5,693	9,686
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失	△109	20
親会社株主に帰属する当期純利益	5,802	9,665

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2016年4月1日～ 2017年3月31日	当連結会計年度 2017年4月1日～ 2018年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,214	8,924
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,945	△12,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,995	6,942
現金及び現金同等物に係る換算差額	△88	△401
現金及び現金同等物の増減額	1,176	2,612
現金及び現金同等物の期末残高	19,416	22,028

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

詳細な財務情報は、当社Webサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

ベルーナ IR

検索

News & Topics ニュース&トピックス

子会社である看護師向け通販を展開する株式会社ナースリーがTBS系列「がっちりマンデー!!」で紹介されました

当社の子会社であり、看護師向け通販を展開する株式会社ナースリーが2018年2月18日、TBSテレビの生活情報番組「がっちりマンデー!!」で紹介されました。「過去最高益の会社を紹介」という企画において、特に好調な看護師通販のナースリーが取り上げられました。番組内では画面右上に「11年ぶりに過去最高益の会社!看護師向けカタログ通販が絶好調!」というテロップが表示され、ナースリーのみならず、ターゲットを絞った160種類以上のカタログを発行している当社グループの強みも紹介いただきました。カタログの細分化こそが過去最高益につながっているという戦略を広く周知でき、当社のブランディングも図られました。



EC取り組み強化、事業領域の拡大のため渋谷オフィスを開設

グループ全体の電子商取引 (EC) への取り組み強化とさらなる事業領域の拡大を目的として、2018年1月15日、東京都渋谷区に渋谷オフィスを開設いたしました。IT関連の企業が多く本社を構える渋谷に新しいオフィスを開設することでECサービスに関する最新の情報を収集できると考えたためです。渋谷はファッションビルが多く、最新の流行も集まるため、EC向け商品の企画や新しい展開にも有効ととらえております。



輸入ブランド雑貨「daily-3」が10年連続ショップ・オブ・ザ・イヤーを受賞

当社子会社である丸長株式会社が運営する輸入ブランド雑貨の通販サイト「daily-3」(デイリースリー)が、楽天市場の2017年のベストショップを決定する「ショップ・オブ・ザ・イヤー2017」において「キッチン用品・食器・調理器具部門」の「ジャンル大賞」を受賞しました。今回で10年連続の受賞です。2017年度は国内外のブランドを新たに取り入れ、取り扱いブランド数と商品数を大幅に増やしたことで、高評価を得ることができました。



<https://www.rakuten.co.jp/daily-3/>

■ 会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)		
資本金	106億7百万円		
創業	1968年9月		
設立	1977年6月		
従業員数	1,742名 (連結)		
事業内容	カタログ等による通信販売を核に、受託、金融、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社		

■ 役員

代表取締役社長	安野 清	取締役 (監査等委員)	萩原 康雄
取締役	安野 雄一郎	社外取締役 (監査等委員)	渡部 行光
取締役	穴戸 順子	社外取締役 (監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	生川 雅一		
取締役	下川 英士		
取締役	松田 智博		

■ 主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
渋谷オフィス	(東京都渋谷区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東支店	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見口ジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,236,456株
株主数 (除く自己名義)	7,633名

■ 大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フレンドステージ	33,920	34.9
安野 清	9,934	10.2
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	7,103	7.3
常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行		
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,367	6.5
安野 公	2,914	3.0
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	1,968	2.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,953	2.0
ベルーナ共栄会	1,614	1.7
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	1,546	1.6
再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社		

*持株比率は自己株式 (740株) を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
20.5%	21.5%	36.4%	21.7%

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領 期末配当金 3月31日

株主確定日 中間配当金 9月30日

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 3月31日

株式の売買単位 100株

公告の方法

電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載 URL
<https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/>

株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関

みずほ信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部

郵便物送付先 および お問合せ先 上場金融 商品取引所

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)

東京証券取引所市場第一部